



野々山建設株式会社

ののやま まさはる
代表取締役 **野々山 正春**

Profile

昭和31年12月生まれ、69歳。
大学を卒業後、昭和54年に渡辺建築設計事務所に入社。設計実務に従事した後の昭和60年10月、野々山建設株式会社に入社した。平成6年、代表取締役に就任。モットーとしている言葉は「諦めなければ道は開ける」



優良企業ガイドはP302へ 【優良企業ガイド 2027】TSR企業コード:400254905

野々山建設株式会社

本 社 / 〒472-0026 愛知県知立市上重原町土取67番地
TEL:0566-81-1895 FAX:0566-81-3550
U R L / https://nonoyama-group.co.jp/
設 立 / 昭和42年5月(創業:昭和38年3月)

従業員数 / 21名(男性17名、女性4名) 平均年齢47.5歳
売 上 高 / 11億円(令和7年3月期)

業界トップクラスの利益率 非住宅特化で成長を続ける

Q1 会社の事業内容について詳しく教えてください。

私たちは建設業界において、住宅系ではなく非住宅系に特化した事業展開を行っています。現在、業界トップクラスの経常利益率を3年連続で達成。売上高も5~6年前の9億円台から、昨年は約11億円、今期は16億円規模へと大きく成長しています。

私たちが力を入れている分野は5つあります。1つ目はゴルフ練習場の改修維持で、鉄塔の補強・塗装、ネットの張り替え、打席の改修などを手がけています。2つ目はガソリンスタンドや水素ステーション。中部国際空港セントレアの水素ステーション本体工事を施工したほか、天白区にある東海エリア初の木造ガソリンスタンドも当社が担当しました。3つ目は公共工事で、愛知県産の檜や瀬戸のタイルを使用した木造公共施設の建設や、来年9月開催のアジア競技大会に向けたクレ射撃場の改修工事なども受注しています。4つ目はクリニック・調剤薬局、5つ目は高齢者施設・グループホームの建設です。大手ゼネコンが手がけないニッチな分野に経営資源を集中させることで、高い専門性と収益性を実現しています。

Q2 人材の採用面や育成面で大切にしていることは何ですか？

会社を存続させていくためには、有資格者の確保が不可欠です。資格がなければ受注もできないため、これが最も重要な点だと考えています。現在、弊社には一級建築士や一級建築施工管理技士、一級土木施工管理技士の有資格者が10名ほど在籍。入社2年以上の社員には、資格を取得してもらうための金銭的な支援を行っています。

また、社員に求めているのは「報連相」の徹底です。情報を自分のところで止めてしまうと、会社に損失を与える

ことにもなりかねません。毎朝の朝礼では、社員一人ひとりがその日の業務内容を共有し、「これを忘れていませんか」「ここに注意してください」といった声かけを行っています。現場に出る監督は毎日参加できませんが、事務所にいる社員は全員参加を原則とし、横のつながりと連携を重視。こうしたコミュニケーションの積み重ねが、会社の大きな財産になっていると感じています。

Q3 これからの会社の方向性や事業ビジョンを教えてください。

私が社長に就任した当時、会社は年商1億円にも満たず、多額の負債も抱えていました。そこから30年以上かけて10億円規模に成長し、今まさに新たな成長ステージに入ろうとしています。

2023年3月には、東京工業大学大学院で構造設計を学び、スーパーゼネコンで実務経験を積んだ息子が入社しました。息子は構造一級建築士の資格を持っており、これを活かした構造診断・補強事業を新たに展開しています。築50年の工場を建て替えれば何十億円もかかりますが、構造診断で補強すれば10年、20年と使い続けられる。自社で診断から施工まで一貫して対応できる点が強みです。

さらに、2024年10月に名古屋鶴舞にオープンした「STATION Ai」にも拠点を設けました。上場企業や主要銀行も入居するこの施設で新たなネットワークを構築し、工場案件など新たな事業領域への進出を目指す考えです。また、中期目標として5年で売上20億円、10年で30億円を掲げており、将来的には海外進出も視野に入れています。

現場監督を除き女性社員が多数活躍。クリスマスには社長からケーキのプレゼント、社員旅行は若手主導で企画するなど、アットホームで風通しのいい社風だ。



清潔に管理された社屋の隣には、同社が改修を手がける野々山ゴルフ場が立地。社員が働きやすい、快適な環境が整っている。

